

1. 校正結果

[圧力変換器]

校正圧力値 kPa	出力値 (圧力値)			
	圧力増加		V	圧力減少
110.000	2.0040	(110.220)	2.0041	(110.226)
220.000	4.0069	(220.380)	4.0069	(220.380)
330.000	6.0085	(330.468)	6.0084	(330.462)
440.000	8.0088	(440.484)	8.0086	(440.473)
550.000	10.0077	(550.424)	10.0076	(550.418)

校正圧力値の不確かさは、99 Pa である。

この値は、包含係数 $k=2$ とした拡張不確かさであり、約 95 %の信頼の水準をもつと推定される区間を与える。

備考

- 1) 校正は、被校正圧力変換器の出力をデジタルマルチメータ Agilent Technologies 社製 型式 34401A で取得し、東京航空計器株式会社標準器と比較して行った。
- 2) 校正前に前負荷を 2 回行った。
- 3) 圧力基準高さは、被校正圧力変換器を水平状態に設置し、継手中心位置とした。
- 4) 測定圧力は、気体ゲージ圧力であり、窒素を圧力媒体とした。
- 5) 測定圧力は 5 点とし、圧力増加・減少の往復を 3 回行った。各測定点では、サンプリング間隔 10 秒で 10 データを取得し、その平均値を計算に用いた。圧力増加時と減少時、それぞれ 3 回の平均から、被校正圧力変換器の出力値を算出した。圧力値 (kPa) は、出力値 (V) に換算係数 55 kPa/V を乗じた。
- 6) 被校正圧力変換器とデジタルマルチメータの接続ケーブルは、1.2 m の長さである。
- 7) 被校正圧力変換器の電源電圧は、DC 24 V とした。
- 8) 校正期間における被校正圧力変換器のゼロ点の出力値は、圧力増加前 0.0000 V (0.000 kPa)、圧力減少後 0.0002 V (0.011 kPa) であった。

2. 校正実施条件

温度 23.0 °C ± 0.0 °C、 相対湿度 50 % ± 0 %、 大気圧 100.0 kPa ± 0.0 kPa

3. 使用した標準器等

デジタル圧力計	型式/器物番号 PPC3-7M A7Mp/A700Kp / 1179	校正証明書番号 1 6 2 0 1 4
---------	---------------------------------------	------------------------

-----以上-----